

川南町学校規模適正化審議会会長 様

川南町教育委員会

## 諮 問 書

学校規模適正化に関し、下記の事項について諮問します。

### 記

#### 1 諮問事項

- (1) 唐瀬原中学校と国光原中学校を統合し、町立中学校を1校とすることについて
- (2) その他学校規模適正化について

#### 2 諮問理由

本町の児童生徒数は、昭和63年に2,973人となり、その後は減少に転じ、平成30年現在では、1,356人と半減しています。また、住民基本台帳を基に、今後の児童生徒数を推計すると6年後の平成36年(2024年)には1,100人を割り込むと予想されます。

また、中学校生徒数の推計では平成30年度現在439人ですが、12年後の平成40年(2030年)には33%減の294人と予想され、国光原中学校においては1学年1学級となる可能性があります。

小・中学校は、集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することで個人の能力を伸ばしつつ、社会において自主的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことが目的とされています。特に中学校は、義務教育最後の3年間であり、これらの目的を達成する重要な時期に当たります。

このようなことから、教育委員会では唐瀬原中学校と国光原中学校を統合し、町立中学校を1校にすることを検討する必要があると考え、学校規模適正化審議会に諮問するものです。